

クライド、デジタルサイネージプラットフォーム「VIFT」にて、ミニストップ店内のデジタルサイネージを活用した独自メニューの提供を開始

～東京都内をはじめとする主要エリアの約300店舗に広告放映可能～

株式会社クライド（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：金田 洋夏）は、自社サービスのデジタルサイネージ広告事業「VIFT」にて、ミニストップ株式会社（本社：千葉県千葉市 代表取締役社長：堀田 昌嗣）が運営するコンビニエンスストア「ミニストップ」内のデジタルサイネージを活用した広告配信メニューを開発、販売することをお知らせします。



■本連携の概要

VIFTは、東京都内をはじめとする主要都市のオフィスビル内に設置されたデジタルサイネージメディアです。

企業の経営層から一般社員まで幅広い層にリーチできる点が特徴で、一定水準の所得があり、購買力のある20～50代のビジネスパーソンをターゲットとする商品・サービスとの相性が良い広告配信メディアとなっています。

これまでVIFTでは、主要都市のオフィスビル内を中心とした端末展開を行っていましたが、このたび、新たにミニストップ株式会社が展開するコンビニエンスストアのうち、東京・大阪・愛知にあるデジタルサイネージが設置された約300店舗との連携が実現しました。

今回の連携により、オフィスビル内とコンビニエンスストア内という異なる生活シーンをカバーすることで、就業中の「オンタイム」から通勤・休憩・帰宅時といった「プライベートタイム」まで、利用者の1日の行動導線に沿った継続的な広告接触が可能となり、認知向上や購買行動の促進が期待できます。



■独自メニュー「BtoCサービスプラン」

本プランでは、企業の社内に設置された簡易コンビニ体型のデジタルサイネージと、東京・大阪・愛知のミニストップ店内にあるデジタルサイネージに一括で広告配信が可能です。

いずれのロケーションも人々の消費行動が発生しやすい場所であるため、購買意欲が高まるタイミングを的確に捉えた広告訴求が可能となり、一般消費者向けの商品・サービスとの高い親和性を誇ります。

また、もう1つの特徴として、広告配信エリアを東京・大阪・愛知の主要都市に集中することで、コストを抑えつつ、4週間の継続的な配信期間を確保することが可能となりました。

これにより、同一利用者への繰り返しのアプローチが可能となり、商品やサービスへの理解促進、ブランドイメージの醸成、さらには広告効果の最大化を実現します。

■ビジネスパーソン向けデジタルサイネージ「VIFT」

～「想い」を「GIFT」に「VIEW」で贈る～

VIFTはあらゆるロケーションでビジネスパーソンにアプローチすることが可能なデジタルサイネージ広告です。

オフィスビル内のエレベーターや執務室、休憩室、個室トイレ、ビルエントランスの他、オフィス街の喫煙所など、多くのビジネスパーソンの目に留まる場所に設置することでさまざまな情報を届けることができます。

VIFT はサービス認知の促進～見込み客アプローチまでを支援する、リードジェネレーションツールとしてご利用いただけます。

株式会社クライド「VIFT」サービスサイト

URL：<https://vift-lp.craid-inc.com/>



■会社概要

社名：株式会社クライド

URL：<https://www.craid-inc.com>

設立：2017年5月31日

代表者：金田 洋夏

事業内容：アドテクノロジー事業、デジタルサイネージ事業、メディア開発事業、オフショア開発事業

社名：ミニストップ株式会社

URL：<https://www.ministop.co.jp/>

設立：1980年5月21日

代表者：堀田 昌嗣

事業内容：コンビニエンスストア『ミニストップ』を展開。ミニストップ店経営希望者とフランチャイズ契約を締結し、商品情報や経営ノウハウを提供。

■お問い合わせについて

<本サービスに関するお問い合わせ>

TEL：03-5728-5880 | Email：vift-ad@craid-inc.com | VIFT 事業部 担当：松井

<報道関係のお問い合わせ>

TEL：03-5728-5880 | Email：corporate-planning@craid-inc.com | 経営企画本部 広報担当：越川

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000044.000028581.html>

CRAID inc.のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchr/p/company_id/28581